

歓迎の言葉

草も木も冬の眠りから覚め、春の光が私たちを包む季節となりました。伝統ある、北高根沢中学校の門をくくり、今日、新たな一步を踏み出す58名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、皆さんの入学を心待ちにしていました。

さて、真新しい制服に身を包んだ皆さんは今、どのような気持ちで門をくぐってきたのでしょうか。校舎を前に、初めて出会う友達や先生にわくわくしながらも、新しい生活への不安の方が大きいのではないのでしょうか。中学校は小学校以上に、自分を磨き、自分を生かし、自分の将来に向けて自分を見つめるところです。人との出会いや新たな経験を大切にして、感謝の気持ちを忘れずに、何事にも前向きに努力し、自分の長所を伸ばして行ってください。

そのために皆さんにお願いしたいことがあります。それは、北高根沢中学校の生徒であるという自覚を持ち行動することです。一つ一つの行動に責任を持てるようになってください。また、「人それぞれに考えが違う」ということを受け入れ、自分を信じ、目標に向かって一日一日を大切にし、自分の考えでまっすぐ突き進んでください。当たり前のことですが、意外と難しいことでもあります。学校生活でも、例えば、運動が得意な人もいれば、苦手な人もいます。学校行事をととても楽しみにしている人もいれば、面倒だと考える人もいます。こうした考え方の違いを受け入れることができ、人は成長します。また、中学校では、自分の個性を存分に発揮し、将来の「夢」にも確実に近づけるところだと思います。

一生懸命努力してもなかなか結果が出ず、時には悩むこともあるかもしれません。そんな時は一人で悩まずに友達や先輩、先生方に頼ってみてください。必ず力になってくれるので安心して有意義な中学校生活を送ることができると思います。

中学校はたくさんのことが身に付く場所です。結果にとらわれず、何事にも努力を怠らないことが皆さんの糧になっていきます。今日から始まる3年間が終わるとき、かけがえのない時間だったと思えるよう、悔いのないように一日一日を過ごして行ってください。仲間と過ごす時間は、一生の宝物になるでしょう。そして、私たちと一緒に、新たな北高根沢中学校の歴史を創っていきましょう。